丸山湿原群保全の会会報

（第 114 号）

発行日：平成 29 年 1 月２０日　編集／発行：丸山湿原群保全の会

〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

15 日の大雪は各地で色々大変だったようです。西谷も約 10 ㎝の積雪、気温が上がらずなかなか解けません。ただ、西谷の阪急田園バス（元西谷バス）はさすがに対応早く、チェーンを巻いて自信たっぷりに走っていました。超赤字路線ですが、雪が積もった日はかなりの利用客が見込まれるようです。地域の足として頑張ってほしいと思います。（私も利用しなくては・・・・・）

（今住　１月 19 日作成）

活報告

★第３湿原再生活動　12 月 25 日（日）

第３湿原の再生作業を実施しました。参加者は７名。宝塚市から消耗品として支給していもらった、スコップ・ヘルメット・草刈鎌が活躍しました。

写真　A

湿原まで、草刈りがま・スコップ・鋸・チェーンソーを運び、当初の計画通り湿原内に横木を設置。まず湿原内のヌマガヤや木本類（イヌツゲ）の除去をします。（写真 A）イヌツゲは根から掘り起こす作業となりました。小さな株でも根は長く太くつながっており、なかなかの重労働です。（写真 B）その後、水の流れを止める横木を探します。

写真　B

写真　C

腐りにくいのは赤松。立ち木伐採も考えましたが、とりあえず芯のしっかりした枯れマツを探し適当な長さに調整。水の流れを慎重に見極めながら上側の木道際に埋め込みました。（写真 C・D）

この日は水量が結構あったためか、すぐに横に水が溜まりだしました。（写真 D）

同じように計 4 か所に設置。長いもの、短いものいろいろ埋め込んでみました。水の流れが縦から横に広がるよう願っています。**かなり乾燥が進んでいる場所なので、ここにどのような植物が出てくるかは未知数。シードバンク（埋土種子）として、眠っていた種が復活となるのか興味深々です。**

写真　D

カスミサンショウウオ・アカガエルも卵を産める環境になるのではと考えています。ただ、やはり水は少ないとこ

ろ。２月～３月どうなることやら・・・です。

木道から観察しやすい場所です。覗いてみてください。（そんなたいそうなものではありません。あしからず）誰でもできる湿原再生です。ぜひ次回もご参加をお願いします。ただし、県の天然記念物ですので地形などを改変する場合は、県の許可が必要です。今回も許可を得ての活動でした。

木道上からの状態

活動報告

★1 月 14 日（土）大雪の前日　小雪ちらつく晴時々曇り（写真は全て当日丸山で撮影）

3名で活動。定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

目的	市内	市外
丸山	13	1
ハイキング	7	6
その他	0	0

来場者数　　計 27 人
（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度
入口	10：00	2℃	
視点場	10：55	3℃	
第３湿原	10：22	【5℃】	23μS/cm
第１湿原	10：45	【2.2℃】	21μS/cm
第２湿原	11：15	【4℃】	24μS/cm

【湿原】

新年最初の活動。寒さのせいか正月疲れか、集まったのは３名。気温は 2℃。仕方ないでしょう。集まった会員の中にも（と言っても３名ですが）「寒いの嫌いやねん。冬眠の時期なのに」と愚痴が出る始末。「いや寒いときにしかっり寒くならないといけません」とわけのわからないことを言いながら湿原へ。

氷った湿原

基礎調査で感じたのは、比較的面積の狭い湿原の水は暖かく、第１湿原のように大きな湿原の水は冷たいということでした。やはり、長い時間水深の浅い場所に滞留しているからでしょうか。

第１湿原は 10 時半の時点でもあちこち凍っていました。出水口（調査地点）では**小さいながらも氷柱（つらら）が出来ていました。**

氷柱（つらら）

12 月末の湿原再生活動のその後はそれなりに順調のようです。まだ結果を求めるのは早いのですが、**明らかに水の流れは横に広がっていました。また、作業によって湿原が踏み荒らされたことも（乱暴な言い方になりますが）適度な攪乱をしたのではないかと思われます。**踏み固めるような、大勢での侵入はダメージが大きいでしょうが、適当な人数が湿原内に入り湿地自体を攪乱することも有効なのかもしれません。シードバンクを掘り起こし、水の流れの変化を引き起こす？

1ケ月後の最上部横木

あくまで私見です。顧問も以前攪乱には強いタイプの湿原と言われていたような気がします。

本道木道下横木

薪炭林（里山）であったと考えると、適当に人は入り込んでいたに違いありません。

今年はもう少し踏み込んでヌマガヤの刈り取りなど計画していく予定です。手刈り、草刈り機での作業歓迎しますのでご協力を。

【湿原付近】

アリマコスズが美しい！前回も紹介しましたがアリマコスズでしょう。隈取が美しく出来、また背丈が大きくならない。絨毯のように密集して生えています。やはりこの植物は冬場が見頃です。

アリマコスズ

木々はすっかり葉を落とし、樹皮だけでは何が何かさっぱりわかりません。あれほど多くあったタカノツメとタムシバ。

タカノツメ

タムシバ

空を見上げてタカノツメとタムシバの違いを、大のおっさん３人が論じ合いました。タムシバにはもう花芽が出来ているはずだとか、木が高いからわからんとか、なんだかんだ言って楽しそうでした。（当事者の一人ですが･･･）その結果見事確認成功！

枝に鋸のような小枝が出ているのがタカノツメ。比較的優雅に枝を伸ばしているのがタムシバです。（多分）

タツさんの落書き

困ったことは、樹皮に落書きが数か所確認されることです。以前から竹筒ポストや木柵にも名前をマジックで書いたり道案内を書いたりする行為がありました。今回は木に直接傷をつけたもの。何が楽しいのでしょうか。自分の行いをよく考えてほしいものです。少なくとも山や湿原を楽しみに来られた方なのですから。自然を愛する気持ちは同じはずです。**次回自分の書いたものを見たとき、恥ずかしい思いをするに違いないと思うのですが･･･。**

再掲【第２湿原　再萌芽木処理計画】

日時は、2017 年１月 29 日（日）。10 時から 15 時ごろまでの活動を予定。要昼食。道具は用意します。自分持ちの道具があればお持ちください。チェーンソーも可。ただし安全は自分で担保してください。１月は２回目の活動日をこの日に変更します。ご注意を。

予告【丸山セミナー　両生類卵塊数調査】

２月 26 日（日）１0:0０～12：00（カスミサンショウウオや両生類を知ろう）

13:00 頃～　　丸山湿原で両生類の卵（卵塊）を調査します

１０年間連続で行ってきたセミナーです。講師はハンザキ研究所　田口勇輝 氏（10 年連続講師）

１０年の節目としたセミナーとします。詳細は次回。　次回活動日１月 29 日・２月４日 26 日